

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2021/10/25

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.32	-0.08
JPY/THB	0.2933	0.0003
USD/JPY	113.50	-0.49
EUR/THB	38.78	-0.06
EUR/USD	1.1643	0.0020
USD/CNH	6.384	-0.010
SGD/THB	24.71	-0.08
AUD/THB	24.87	-0.07
USD/INR	74.90	0.04
USD Index	93.64	-0.13

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,795.5	14.3
WTI (Oil)	83.76	1.26
Copper	9,704.0	-127.5

Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,643.42	0.00
NIKKEI (JP)	28,804.85	96.27
DOW (US)	35,677.02	73.94
S&P500 (US)	4,544.90	-4.88
SHCOMP (CN)	3,582.60	-12.18
DAX(GER)	15,542.98	70.42

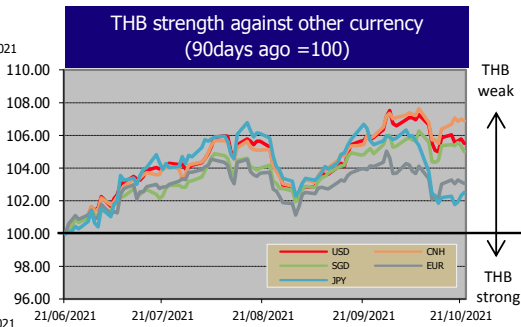
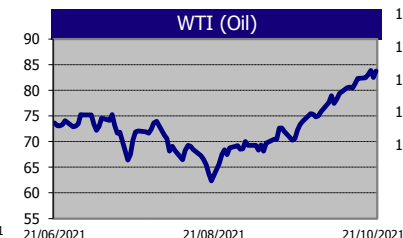
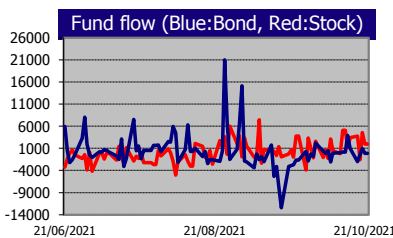
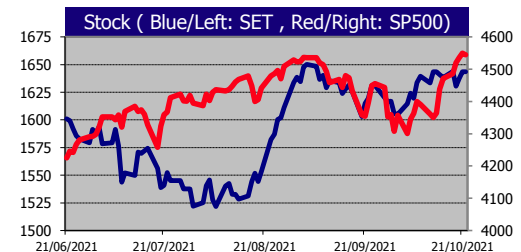
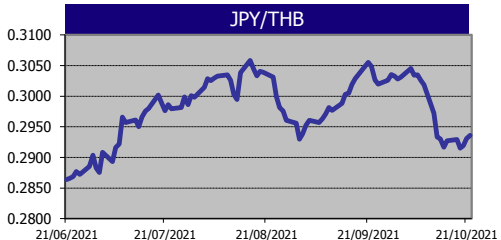
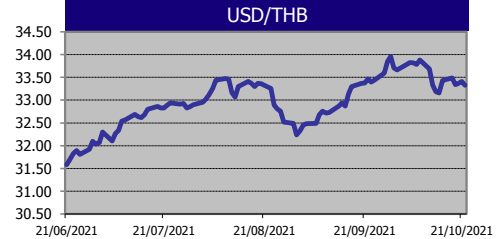
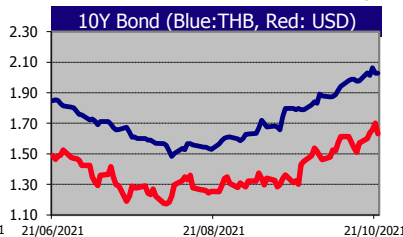
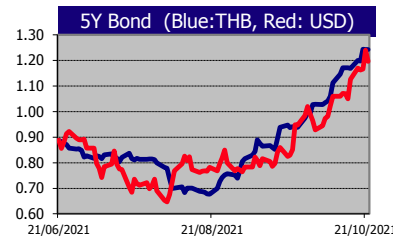
Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.242	0.000
10Y (THB)	2.029	0.000
5Y (USD)	1.196	-0.044
10Y (USD)	1.632	-0.069

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,975	0.0
Bond net flow	(130)	0.0

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

21日は33パーツ前半で取引開始。翌日から始まる連休を前に方向感に書ける展開となり、狭いレンジ内で上下。海外時間、米経済指標はまちまちの結果で為替への影響は限られたが、米金利が上昇する展開に33.40近辺で底堅く推移。22日、日中はタイ祝日のため流動性に乏しい中、ドル売りが入ったことで33パーツ前半へ下落。海外時間、米10月PMIが予想を上回ったほか、米パウエル議長がテーバリングを近く開始すべきだとする発言をしたことでドルパーツは終盤に下げ幅を縮小して引けた。

●ドル円その他

21日のドル円は114円前半で取引開始。前場から日経平均が軟調な動きを見せ、東京時間午後には更に下げ幅を拡大するとドル円は114円を割り込んだが、押し目買いにサポートされ114円近辺で海外時間へ。海外時間は弱い米経済指標がフォーカスされて113円半ばへと下落するも、終盤には114円近くへ回復。22日、時間外取引で米10年債利回りが1.7%台に上昇し114円前半で推移したが、114円を超えてくると上値重く推移。海外時間、ドル円は114円を割り込みじりじりと下落。その後パウエル議長がテーバリングを近く開始すべきだと発言してNY時間終盤には下げ渋り、113円半ばで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

デフォルトと認定されてしまうかどうかの瀬戸際にいた中国恒大集団は、当初利払日9月23日から30日間が経過しようとする間際の先週末に米ドル建て社債の利払いを履行しました。外債建て社債の利払が出来ておらず懸念視されていただけに、このニュースはタイパーツを含む世界のリスク性資産にとってプラスだったと思います。また、ドル高にも陰りが出てきたようで、ここ1ヶ月の動きを見ると、主要通貨であるユーロや円に対してのドルの上昇は10月中旬にピークを迎えたのではないかと考えています。そうした動きがドルパーツの上値を押さえているのではないのでしょうか。34パーツを何度もトライしたものの押し返されたしたドルパーツは、下落した後33.50を抜け切れてません。加えて、11月からは外国人観光客の受入れ再開が決定しており、当初の報道で予想されていた対象国よりも遥かに多い46カ国が対象となりました。これはタイ観光業にとってポジティブサプライズであり、観光業の回復期待が一層高まります。タイGDP成長率の見通しも上方修正が見込めそうですので、月末週の今週はドルパーツはパーツがしっかりと推移しそうです。(鈴木)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.